

報道発表資料の配付日時 9月30日(水) 14時00分

発表項目 (行事名)	令和2年度 「北の住まいるタウン」事例見学ツアーの実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○官民連携により民間が整備した公共施設と民間機能を併せ持つ複合施設、ガーデニングが楽しめる景観に配慮した住宅地、年間100万人を超える集客力を誇る道の駅など幅広い分野を事例見学し、今後のまちづくりを考えるきっかけとしていただくことを目的に、「恵庭市事例見学ツアー」を開催しますので、お知らせします。</p> <p>1 日 時 令和2年10月29日(木) 10:00～16:00</p> <p>2 集合場所 緑と語らいの広場「えにあす」内「市民活動センター2F会議室」(恵庭市緑町2-1-1) (公用車等でお越しの際は、えにあすの駐車場をご利用下さい。)</p> <p>3 参加者 市町村職員などまちづくりに関心のある方30名程度 (先着順となっております。)</p> <p>4 見学施設 恵庭市内の以下の施設 緑と語らいの広場えにあす、恵み野商店街、研究村通り、優良田園住宅、道と川の駅花ロードえにわ、花の拠点センターハウス、漁川親水空間、ふれる恵み野 ※詳細は別添チラシのとおり ※http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/tki/kitasuma_top.htmも参照。</p>		
参考	道では「コンパクトなまちづくり」、「低炭素化・資源循環」、買い物支援や生活交通の確保といった「生活を支える」取組を一体的に進め、誰もが安心して心豊かに住み続けるまち・地域づくり「北の住まいるタウン」を推進しています。		

報道(取材)に当たってのお願い	「北の住まいるタウン」の推進の観点から、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	建設部まちづくり局都市計画課 課長補佐 江端 貢 TEL 011-231-4111 (内線29-804) 直通 011-204-5284		
-------------	---	--	--



恵庭市

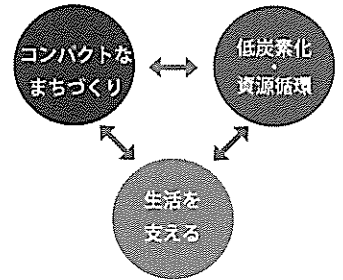
事例に学び、
わがまちの未来をともに考えよう!

事例見学ツアー

2020

北海道の地域資源を最大限に活用し「コンパクトなまちづくり」「低炭素化・資源循環」「生活を支える取組」を一体的に進めるまち・地域づくり「北の住まいるタウン」。

今年度は、恵庭市で、「事例見学ツアー」を開催します!市民による庭づくりが盛んな「花のまち」恵庭市では、人口減少社会に向け、「拡大成長型のまちづくり」から、鉄道3駅を中心とした「コンパクトなまちづくり」へと改めました。関連施策をパッケージ化し、職・住・観光等、広範な機能や環境整備を複合的・一体的に実施し、官民連携の積極的な推進を図っています。地域のまちづくりに関心のある皆さん、一緒にこれからのまちづくりの進め方を考えましょう!新型コロナ感染予防対策を徹底して実施します。



日時 2020

10.29(木) 10:00▶16:00

会場

緑と語らいの広場 えにあす内
市民活動センター2階会議室

(恵庭市緑町2-1-1
JR恵庭駅より徒歩8分)

定員

30名

参加費

無料

※昼食代は
ご負担ください。

駐車場あり

えにあす 集合

10:00~

ガイダンス

恵庭市総合戦略に位置付けられている施策パッケージのひとつ、「ガーデンデザインプロジェクト」の取組内容と見学先について、恵庭市の担当者からお話をうかがいます。

11:00~

緑と語らいの広場
えにあす



民間事業者の資金調達による複合施設整備
公共施設の集約と民間施設の併設

11:30~

恵み野商店街



利便性に配慮した駐車帯の設置

貸切バス車中より見学

優良田園住宅



研究村通り

ガーデニングを本格的に楽しめる
建築条件付き宅地開発

12:10~

道と川の駅 花ロード
えにわ(昼食)



年間100万人を超える集客力

13:25~

花の拠点センターハウス



子どもの遊び場やRVパークの
機能を有した観光の拠点

漁川親水空間



花の拠点と連携した親水空間

ふれる恵み野



官民連携による環境
配慮型住宅団地

15:00~

意見交換

視察成果をワーク
ショップ形式で振
り返ります。

~16:00

えにあす 解散

裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

主催:北海道(建設部 まちづくり局 都市計画課) http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/tki/kitasuma_top.htm

運営:「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者:株式会社石塚計画デザイン事務所

恵庭市事例見学ツアー 訪問先

① 緑と語らいの広場 えにあす

恵庭市所有の土地に、事業用定期借地権を設定し、民間事業者が公共機能と民間機能を併せ持つ施設を整備・所有・維持管理するリース方式を導入。公共施設として市民活動センターや保健センター、民間機能としてスポーツクラブやコンビニ、地域FM放送があります。

② 恵み野商店街

広い歩道には植樹柵が設置され、樹木や花が植えられています。駐車場は店舗の裏にあります。来店者の利便性を考え、歩道スペースの一部を駐車帯として整備しました。

③ 研究村通り

電線の地中化や、ガレージのビルトイン、塀が無いなど、景観に配慮した街並みです。1戸あたりの敷地面積は100坪中心で、通りに面して丹精込めた庭が広がっています。

④ 優良田園住宅

高さや色彩、道路に面する2m幅は草花に彩られた空間とするなどのルールがあり、花や野菜を育てながら暮らすライフスタイルが景観に直結した街並みです。開発主体は地元の建設事業者等で構成される協同組合。

⑤ 道と川の駅 花ロードえにわ

年間100万人を超える集客力のある道の駅。農産物直売所「かのな」も併設。多目的広場やウォーターガーデンも整備されています。2020年3月リニューアルオープンしました。

⑥ 花の拠点センターハウス

旧保健センターの建物を大規模改修。観光案内、花を中心とした展示・研修、子どもの遊び場、RVパーク利用者向けサービス機能を導入し、2020年秋オープン。

⑦ 漁川親水空間

漁川沿いの河川空間を、親水性や利便性を高める新たな河川環境となるよう、国土交通省と恵庭市が連携して行う事業。親水護岸や観察デッキ・散策路を設け、気軽に豊かな自然と触れ合える施設整備を目指しています。

⑧ スマートタウンふれる恵み野

ガーデニングが楽しめるゆとりある住宅地とするため、全ての宅地は一区画300㎡以上。景観配慮事項やガスマイホーム発電システム導入の推奨などが、住宅地販売条件になっています。開発主体は地元の建設事業者等で構成される協同組合。

北の住まいるタウン 恵庭市事例見学ツアー 参加申込書

申込締切

2020年10月22日(木)

- 参加ご希望の方は、下記に記載のうえ、FAX・電話・Eメールのいずれかでお申し込みください。
- Eメールで申し込まれる場合は、下記の内容をメール本文に記載のうえ、お申し込みください。
- 定員30名、先着順

氏名	電話番号
所属・役職など	メールアドレス

※ご記入いただいた個人情報、本事業の運営管理の目的のみに使用させていただきます。
※えにあすでのガイダンス時及び意見交換時、バス乗車時は密にならないよう十分な距離を確保します。
※体調がすぐれない場合は、申込後でも参加をお控えください。
※事前に厚生労働省の接触確認アプリCOCOAのインストールをお願いします。
※ご参加当日、「北海道コロナ通知システム」にご登録いただきます。
※当日の検温により、37.5度以上の発熱のある方は参加できません。
※当日はマスク着用でご参加ください。

「北の住まいるタウン」の取組の内容についてまとめたガイドブックをWEBでご紹介しています



主催：北海道 建設部 まちづくり局 都市計画課 (電話011-204-5284 担当：尾崎)

お申込・お問い合わせ先：(株)石塚計画デザイン事務所 (担当：蔵田・後藤・小林)

FAX 011-251-7574

電話 011-251-7573 (平日9:30~18:00)

E-mail koza@community-design.jp



facebookページもご覧ください。
「北の住まいるタウン」